



# 北部上北広域事務組合 公共施設等総合管理計画

2024.3

# 目次

## 北部上北広域事務組合 公共施設等総合管理計画

### 第1章 北部上北広域事務組合の概況

|                         |   |
|-------------------------|---|
| 1. 計画策定の目的 .....        | 1 |
| 2. 公共施設等総合管理計画の目的 ..... | 2 |
| 3. 計画の位置づけ .....        | 2 |
| 4. 計画期間.....            | 2 |
| 5. 圏域の概要.....           | 3 |
| 6. 組合の沿革.....           | 4 |
| 7. 組合の組織図.....          | 7 |
| 8. 圏域の人口予測 .....        | 8 |
| 9. 組合の財政状況 .....        | 9 |

### 第2章 公共施設等の現状及び将来の見通し

|                    |    |
|--------------------|----|
| 1. 保有する施設について..... | 14 |
| 2. 公共施設の状況 .....   | 16 |

### 第3章 施設の基本方針

|                              |    |
|------------------------------|----|
| 1. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方 ..... | 21 |
| 2. 施設ごとの管理に関する基本的な方針 .....   | 22 |

### 第4章 将来の資産必要額と個別施設計画の財政効果

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. 個別施設計画の達成による財政効果..... | 24 |
| 2. 本計画の推進体制 .....        | 26 |
| 3. フォロー体制に関する実施方針 .....  | 26 |

## 第1章

# 北部上北広域事務組合の概況

## 1. 計画策定の目的

我が国においては、高度経済成長期やバブル経済期前後にかけて大きな社会資本投資を行ってきました。これは、住民ニーズや社会状況の変化とともに、様々な公共施設等を整備し、また、一方で、平成24（2012）年12月に起きた笹子トンネル天井板落下事故による、公共施設等の社会資本の老朽化への対応と様々な災害対策に向けた国土強靱化を目指す国の方針は既に進んでいるところです。これに加え、少子・高齢化の進行などによる人口構造が大きく変化し、人口減少に伴う施設の統合や複合化、施設更新コスト圧縮のための長寿命化という大きな社会的な課題が懸念されています。

人口減少に伴う経済縮小や労働力人口の減少、社会基盤整備や社会保障による財政の悪化など、様々な想定を考えつつ、社会資本投資による公共施設などは、老朽化の進行や更新時期の到来、人口減少や少子・高齢化の進行に伴う統廃合や複合化の必要性、大規模災害等への対応などにより、施設等を取り巻く環境は大きく変化しており、これらの対応が迫られています。

また、地方公共団体において厳しい財政状況が続く中、現在、全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。また、今後当組合を構成する町村は人口減少と少子高齢化等による公共施設等の利用需要の変化が予想されることから、早急に公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視野に立って、更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うことにより財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現することが必要です。

このような状況の中、平成25（2013）年11月インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議で決定された「インフラ長寿命化計画」における地方公共団体の「インフラ長寿命化基本計画（行動計画）」に位置付けられる計画として、平成26（2014）年4月、内閣府、総務省が主導となって中央・地方公共団体の全てが「公共施設の今後の在り方」について資産更新問題を見据えた取りまとめを行うというのが「公共施設等総合管理計画」です。これによりすべての地方公共団体並びに広域事務組合は、公共施設等（建築物）、道路や橋梁などのインフラ系施設などすべての公共施設を対象として、10年以上の長期の視点を持ち、財政見通しと施設維持管理費に配慮した公共施設等総合管理計画を策定することを要請されています。

当組合は保有施設の状況確認や今後の更新・改修の見通しなどを考えていかなければなりません。

この「北部上北広域事務組合 公共施設等総合管理計画（以下、本計画）」は様々な社会情勢や保有施設の全体像を明らかにし、保有する公共施設を効果的・効率的に活用し、必要な公共サービスを持続的に提供し続けられるよう、長期的な視点を持って、公共施設等の総合的かつ計画的な維持管理を推進することを目的として策定するものです。

## 2. 公共施設等総合管理計画の目的

拡大する行政需要や住民ニーズの多様化に応じて整備を進めてきた公共施設等は、老朽化による更新時期の到来や、大規模災害への対応が必要となっています。更に財政状況の厳しさが続いていることも踏まえ、少子高齢化等の社会構造の変化に応じた計画的な更新・統廃合・長寿命化等の検討、財政負担軽減・平準化、公共施設等の最適な配置の実現が必要となっています。

本計画は、各個別施設計画の内容及び令和5（2023）年10月10日の総務省の通知（以下）を踏まえて改定したものとします。

## 3. 計画の位置づけ

本計画については、当組合で作成している公共施設等総合管理計画と連動し、計画的な施設整備を実施していきます。



## 4. 計画期間

計画期間は令和5（2023）年度から令和14（2032）年度までの10年間とします。今後は関連計画や社会情勢の変動などに応じて、見直しを行っていきます。

**計画期間「10年間」**  
**令和5（2023）年度～令和14（2032）年度**



## 6. 組合の沿革

### (1) 事務局

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| 昭和 48 (1973) 年<br>5 月 1 日   | 野辺地地区環境整備事務組合発足<br>野辺地町、横浜町、六ヶ所村で組織<br>一般廃棄物処理施設の設置<br>事務所の位置：野辺地町役場に置く                                |
| 昭和 51 (1976) 年<br>10 月 30 日 | 野辺地地区環境整備・福祉事務組合に名称変更<br>火葬場施設の設置、福祉施設の設置  |
| 昭和 57 (1982) 年<br>4 月 1 日   | 特別養護老人ホーム野辺地ホームの開設   |
| 平成 6 (1994) 年<br>4 月 1 日    | 事務所の位置：野辺地町に置く（野辺地町字田狭沢 40-9）  |
| 平成 8 (1996) 年<br>3 月 31 日   | 野辺地地区環境整備・福祉事務組合解散   |
| 平成 8 (1996) 年<br>4 月 1 日    | 北部上北広域事務組合発足<br>野辺地町、平内町、横浜町、六ヶ所村で組織<br>野辺地・平内地区消防事務組合、野辺地町外一町一ヶ所村病院組合、野辺地地区環境整備・福祉事務組合の 3 組合の事務を継承する。 |
| 平成 10 (1998) 年<br>4 月 1 日   | クリーン・ペア・はまなすの開設<br>(平内町は平成 25 (2013) 年 3 月 31 日で脱退)  |
| 平成 31 (2019) 年<br>3 月 31 日  | 特別養護老人ホーム野辺地ホームの廃止   |
| 平成 31 (2019) 年<br>4 月 1 日   | 特別養護老人ホーム野辺地ホームの民間移譲   |

### (2) 消防本部、野辺地消防署、平内消防署、横浜消防署、六ヶ所消防署

|                           |                                      |
|---------------------------|--------------------------------------|
| 昭和 42 (1967) 年<br>4 月 1 日 | 野辺地町消防本部・野辺地町消防署設置                   |
| 昭和 45 (1970) 年<br>3 月 5 日 | 野辺地町と平内町で野辺地・平内地区消防事務組合設立許可          |
| 昭和 45 (1970) 年<br>4 月 1 日 | 野辺地・平内地区消防事務組合業務開始<br>野辺地消防署・平内消防署設置 |
| 昭和 47 (1972) 年<br>6 月 1 日 | 野辺地・平内地区消防事務組合へ横浜町加入。横浜分署設置          |

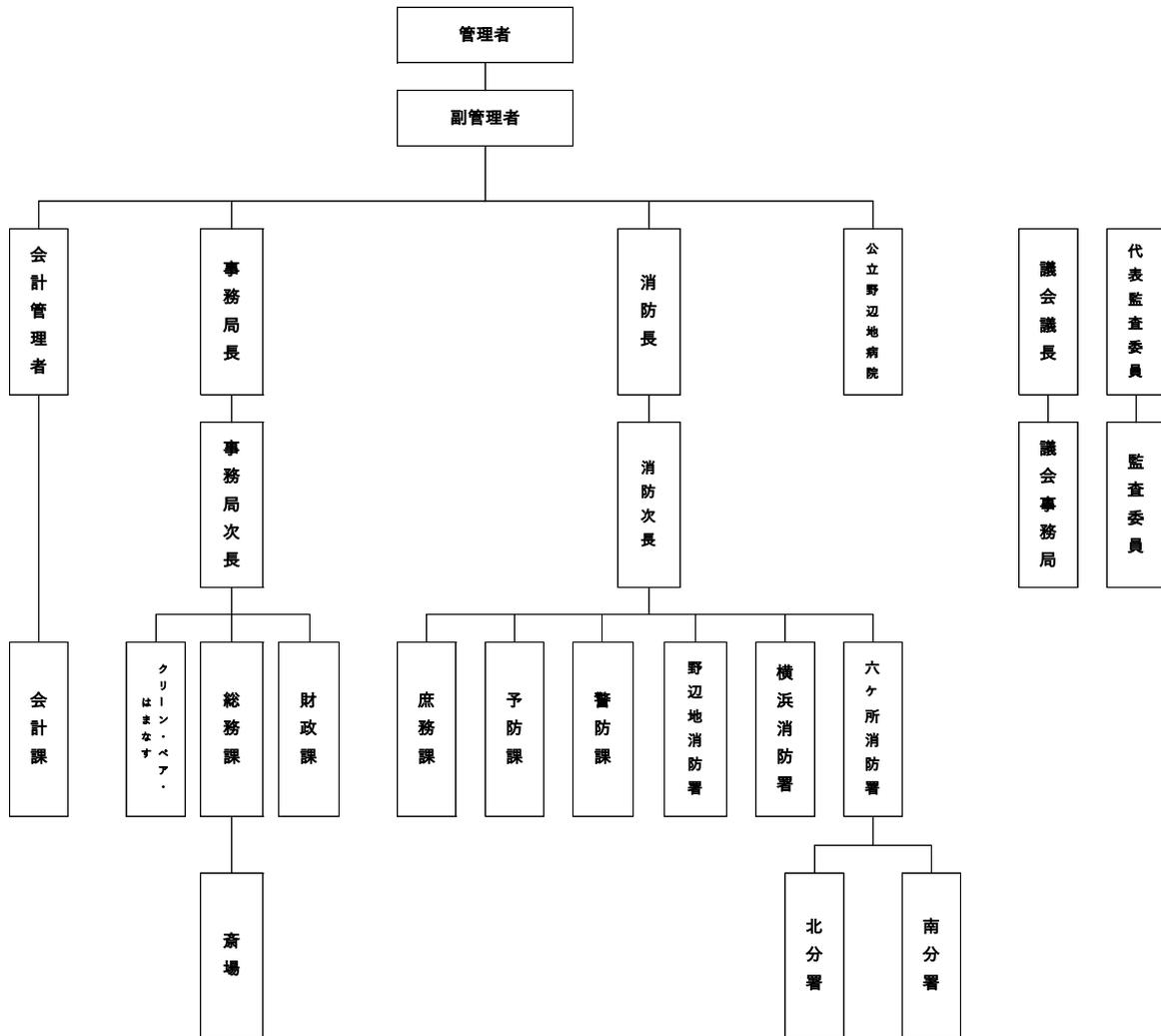
|                      |  |
|----------------------|--|
| 昭和49(1974)年<br>6月1日  | 野辺地・平内地区消防事務組合へ六ヶ所村加入。六ヶ所分署設置  |
| 平成5年(1993)<br>2月25日  | 六ヶ所消防署北分署設置  |
| 平成8(1996)年<br>3月31日  | 野辺地・平内地区消防事務組合解散   |
| 平成8(1996)年<br>4月1日   | 北部上北広域事務組合発足により再編<br>野辺地町に消防本部・野辺地消防署、平内町に平内消防署、横浜町に<br>横浜消防署、六ヶ所村に六ヶ所消防署及び同北分署をそれぞれ設置 |
| 平成12(2000)年<br>4月5日  | 六ヶ所消防署南分署設置  |
| 平成25(2013)年<br>3月31日 | 平内消防署が北部上北広域事務組合から脱退   |

### (3) 公立野辺地病院

|                    |  |
|--------------------|--|
| 昭和8(1933)年<br>9月   | 保証責任利用組合北奥病院として設立。                             |
| 昭和33(1958)年<br>10月 | 野辺地町、横浜町、六ヶ所村にて野辺地町外一町一ヶ村病院組合設立<br>公立野辺地病院と改称。 |
| 昭和48年(1973)年<br>3月 | 現在の本館棟建設。                                      |
| 昭和54年(1979)年<br>3月 | 現在の南棟建設、248床。(一般病床228床・伝染病床20床)                |
| 平成3年(1991)年<br>5月  | 現在の中央棟建設。                                      |
| 平成5年(1993)年<br>3月  | 本館棟及び南棟改築工事完了。(現在の野辺地病院)                       |
| 平成8(1996)年<br>4月   | 北部上北広域事務組合設立。同組合公立野辺地病院となる。                    |
| 平成12(2000)年<br>4月  | 228床。(一般病床：180床、療養病床：48床)                      |
| 平成20(2008)年<br>6月  | 200床。(一般病床：152床、療養病床：48床)                      |
| 平成22(2010)年<br>4月  | 199床。(一般病床：151床、療養病床：48床)                      |

|                        |   |
|------------------------|---|
| 平成 24 (2012) 年<br>10 月 | 199 床。<br>(一般病床 120 床、療養病床 31 床、介護療養型老人保健施設 48 床) |
| 平成 25 (2013) 年<br>10 月 | 一般病床 120 床のうち 16 床を亜急性期病床に転換。                     |
| 平成 25 (2013) 年<br>12 月 | 一般病床 120 床のうち、新たに 2 床を亜急性期病床に転換し、亜急性期病床は 18 床となる。 |
| 平成 26 (2014) 年<br>4 月  | 指定居宅介護支援事業所開設。(併設)                                |
| 平成 26 (2014) 年<br>10 月 | 亜急性期病床 18 床を廃止。                                   |
| 平成 27 (2015) 年<br>4 月  | 一般病床 120 床のうち 5 床を地域包括ケア病床に転換。                    |
| 平成 27 (2015) 年<br>10 月 | 一般病床 120 床のうち、新たに 10 床を地域包括ケア病床に転換。               |
| 平成 27 (2015) 年<br>12 月 | 一般病床 120 床のうち、新たに 4 床を地域包括ケア病床に転換。                |
| 平成 28 (2016) 年<br>1 月  | 一般病床 120 床のうち、新たに 1 床を地域包括ケア病床に転換。                |
| 平成 28 (2016) 年<br>8 月  | 一般病床 120 床のうち、新たに 10 床を地域包括ケア病床に転換。               |
| 平成 30 (2018) 年<br>1 月  | 一般病床 120 床のうち、新たに 13 床を地域包括ケア病床に転換。               |
| 平成 30 (2018) 年<br>8 月  | 151 床。<br>(介護療養型老人保健施設 48 床を廃止。)                  |
| 令和 2 年 (2020) 年<br>5 月 | 病院機能評価認定。   |
| 令和 2 年 (2020) 年<br>7 月 | 地方公営企業法の全部適用となる。                                  |
| 令和 3 年 (2021) 年<br>3 月 | 地域包括ケア病棟 53 床となる。                                 |

## 7. 組合の組織図

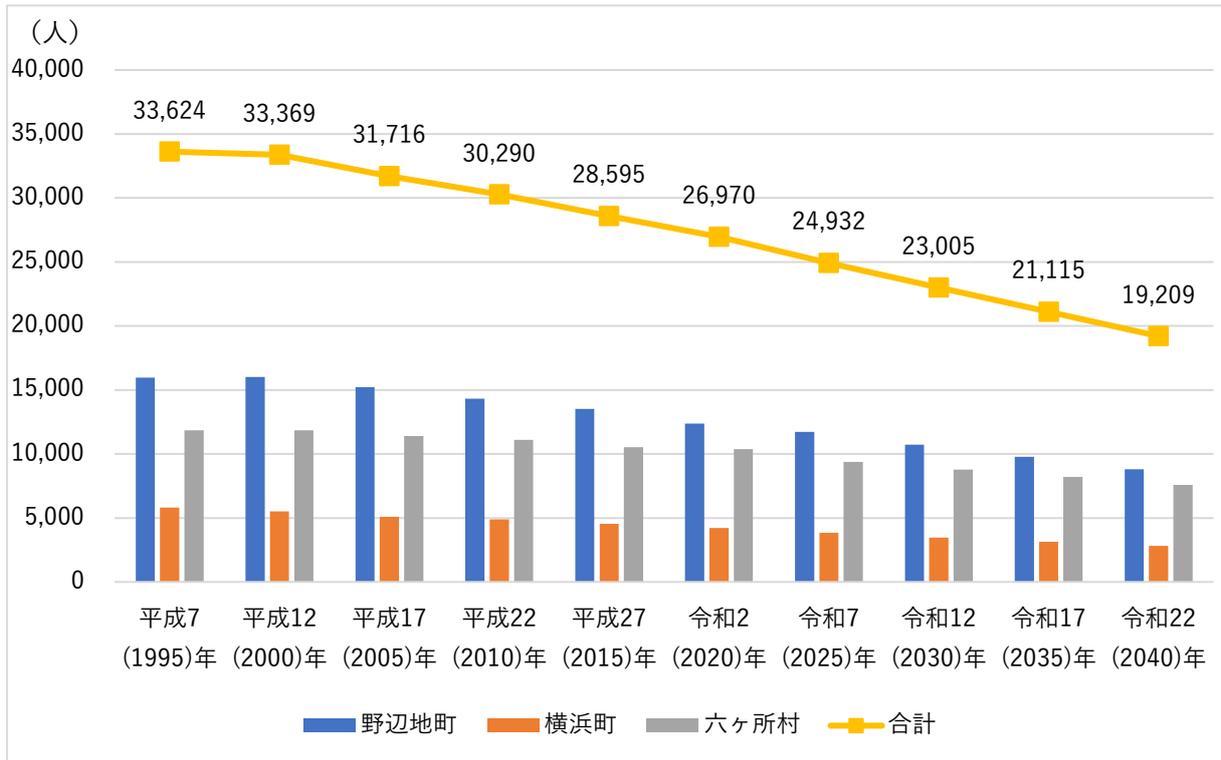


## 8. 圏域の人口予測

当組合の圏域の人口は平成7（1995）年の33,624人から徐々に減少し、令和2（2020）年度には平成7（1995）年当時と比較して19.8%減少し26,970人となっています。

社会保障・人口問題研究所の推計によると、当組合圏域の人口は、今後も減少を続け、令和22（2040）年には19,209人（平成7（1995）年比較約42.9%減少）になる見込みです。

近年の人口減少は、少子高齢化社会を迎え出生率が死亡数を大きく下回る自然減が起き、さらに、産業の低迷による後継者不足や、景気低迷による就労確保の場を都市部に求めた社会減が起きたことも大きな要因となっています。



(単位：人)

|      | 平成7<br>(1995)年 | 平成12<br>(2000)年 | 平成17<br>(2005)年 | 平成22<br>(2010)年 | 平成27<br>(2015)年 | 令和2<br>(2020)年 | 令和7<br>(2025)年 | 令和12<br>(2030)年 | 令和17<br>(2035)年 | 令和22<br>(2040)年 |
|------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 野辺地町 | 15,969         | 16,012          | 15,218          | 14,314          | 13,524          | 12,374         | 11,714         | 10,735          | 9,770           | 8,802           |
| 横浜町  | 5,806          | 5,508           | 5,097           | 4,881           | 4,535           | 4,229          | 3,836          | 3,479           | 3,146           | 2,824           |
| 六ヶ所村 | 11,849         | 11,849          | 11,401          | 11,095          | 10,536          | 10,367         | 9,382          | 8,791           | 8,199           | 7,583           |
| 合計   | 33,624         | 33,369          | 31,716          | 30,290          | 28,595          | 26,970         | 24,932         | 23,005          | 21,115          | 19,209          |

## 9. 組合の財政状況

### (1) 一般会計の財政状況

一般会計の直近4年間の財政状況は下記のとおりとなります。

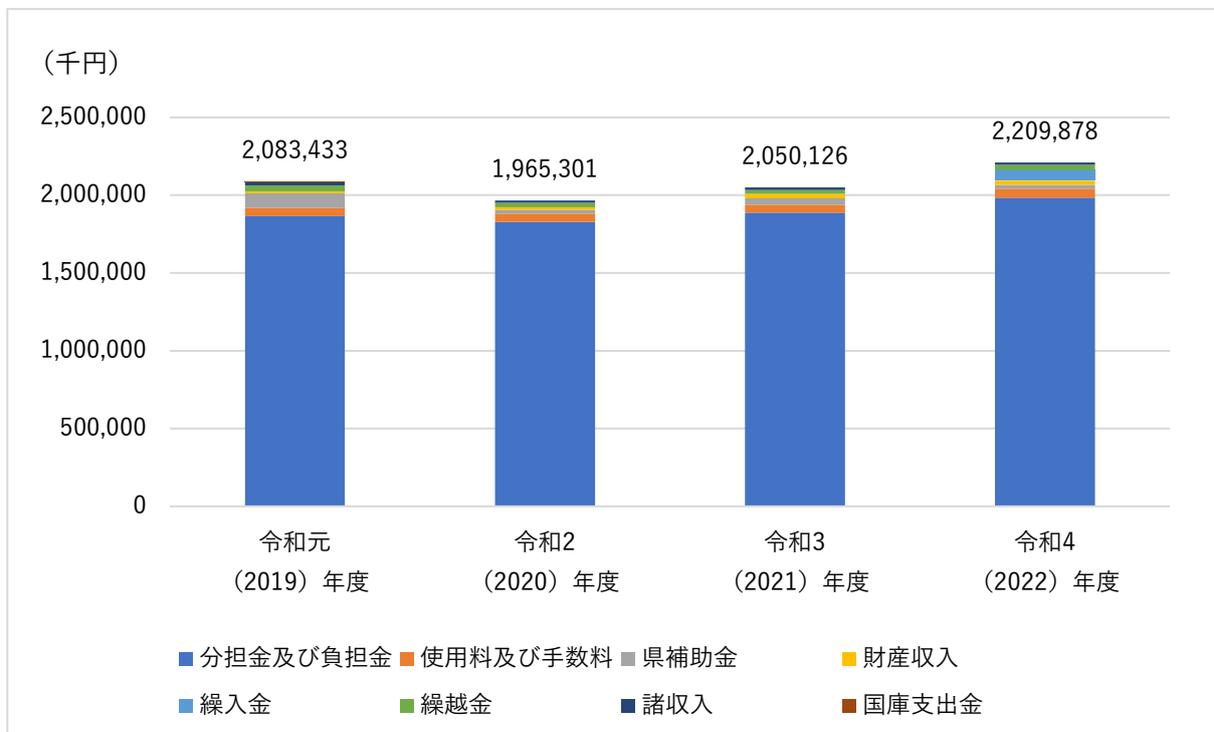
#### ■歳入の推移

(単位：千円)

|          | 令和元<br>(2019) 年度 | 令和2<br>(2020) 年度 | 令和3<br>(2021) 年度 | 令和4<br>(2022) 年度 |
|----------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 分担金及び負担金 | 1,865,561        | 1,827,618        | 1,887,248        | 1,983,638        |
| 使用料及び手数料 | 52,451           | 54,290           | 52,580           | 58,153           |
| 県補助金     | 94,820           | 24,321           | 41,104           | 24,017           |
| 財産収入     | 11,827           | 15,847           | 28,745           | 27,533           |
| 繰入金      | 0                | 0                | 0                | 70,577           |
| 繰越金      | 37,811           | 29,240           | 23,405           | 32,012           |
| 諸収入      | 19,852           | 13,985           | 17,044           | 13,948           |
| 国庫支出金    | 1,111            | 0                | 0                | 0                |
| 歳入合計     | 2,083,433        | 1,965,301        | 2,050,126        | 2,209,878        |

※表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

※一般会計のみであり、病院費は除いています。



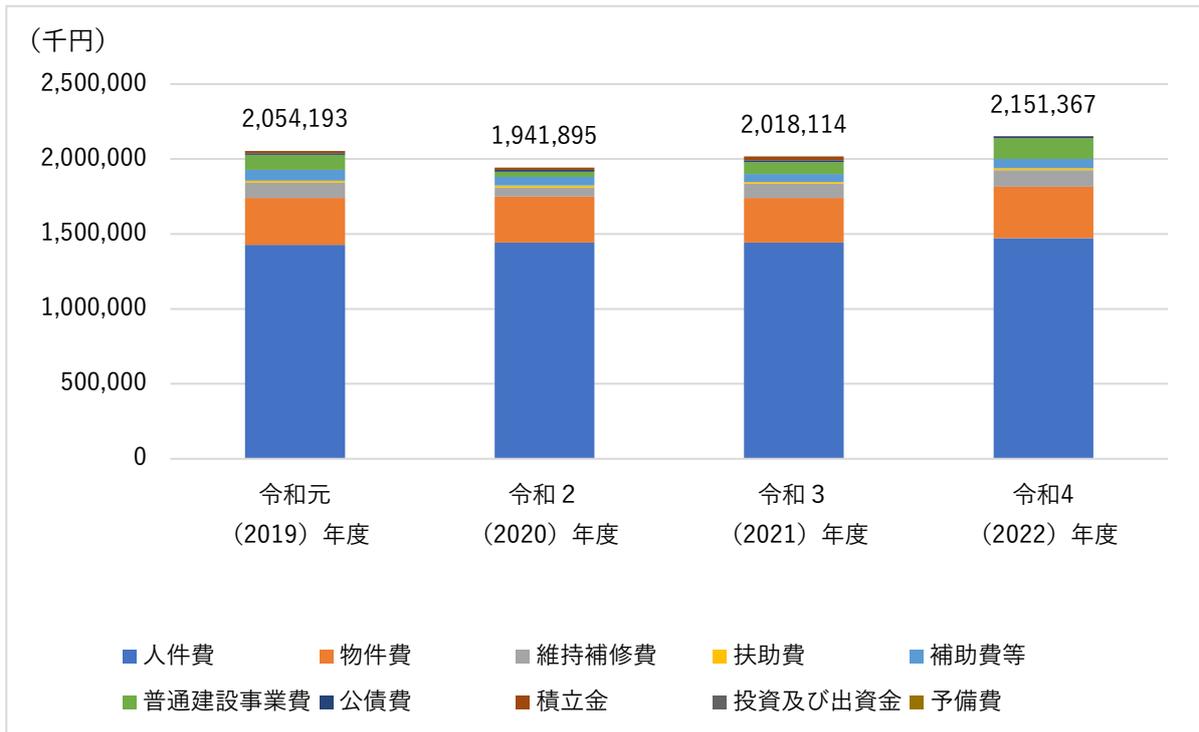
■歳出の推移

(単位：千円)

|         | 令和元<br>(2019) 年度 | 令和2<br>(2020) 年度 | 令和3<br>(2021) 年度 | 令和4<br>(2022) 年度 |
|---------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 人件費     | 1,426,645        | 1,442,249        | 1,442,398        | 1,472,672        |
| 物件費     | 313,939          | 307,642          | 298,113          | 342,315          |
| 維持補修費   | 103,012          | 61,512           | 95,317           | 111,434          |
| 扶助費     | 12,860           | 11,660           | 11,815           | 12,965           |
| 補助費等    | 71,698           | 57,173           | 52,547           | 61,845           |
| 普通建設事業費 | 98,818           | 34,488           | 79,321           | 137,725          |
| 公債費     | 12,410           | 12,410           | 12,410           | 12,410           |
| 積立金     | 14,811           | 14,761           | 26,193           | 1                |
| 投資及び出資金 | -                | -                | -                | -                |
| 予備費     | -                | -                | -                | -                |
| 歳出合計    | 2,054,193        | 1,941,895        | 2,018,114        | 2,151,367        |

※表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。

※一般会計のみであり、病院費は除いています。



※参照 決算書より抜粋

## (2) 病院事業会計の財政状況

病院事業会計の直近4年間の財政状況は下記のとおりとなります。

(単位：千円)

|             |       | 令和元<br>(2019) 年度 | 令和2<br>(2020) 年度 | 令和3<br>(2021) 年度 | 令和4<br>(2022) 年度 |
|-------------|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 医業収益        | 入院収入  | 1,193,336        | 1,407,705        | 1,564,515        | 1,461,181        |
|             | 外来収入  | 675,675          | 675,950          | 695,671          | 673,488          |
|             | その他収入 | 293,923          | 321,088          | 352,270          | 366,519          |
|             | 小計    | 2,162,934        | 2,404,743        | 2,612,456        | 2,501,188        |
| 医業外収益       |       | 259,203          | 443,517          | 336,482          | 367,917          |
| 訪問看護収益      |       | 20,551           | 26,245           | 23,132           | 26,418           |
| 訪問看護外収益     |       | 127              | 399              | 435              | 193              |
| 居宅介護支援事業収益  |       | 6,608            | 9,718            | 15,218           | 17,192           |
| 居宅介護支援事業外収益 |       | 38               | 11               | 44               | 167              |
| 特別利益        |       | -                | 28,300           | -                | 11,765           |
| 収益合計        |       | 2,449,461        | 2,912,933        | 2,987,767        | 2,924,840        |

(単位：千円)

|                    |           | 令和元<br>(2019) 年度 | 令和2<br>(2020) 年度 | 令和3<br>(2021) 年度 | 令和4<br>(2022) 年度 |
|--------------------|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 医業費用               | 給与費       | 1,524,210        | 1,558,404        | 1,636,641        | 1,806,383        |
|                    | 材料費       | 325,461          | 340,266          | 380,368          | 358,886          |
|                    | 経費        | 561,616          | 539,951          | 453,134          | 450,900          |
|                    | 減価償却費     | 147,776          | 175,869          | 188,982          | 160,721          |
|                    | 資産減耗費     | 1,790            | 1,979            | 11,372           | 2,967            |
|                    | 研究研修費     | 6,631            | 4,256            | 4,713            | 4,918            |
|                    | 長期前払消費税償却 | 1,683            | 728              | 728              | 728              |
|                    | 小計        | 2,569,167        | 2,621,453        | 2,675,938        | 2,785,503        |
| 医業外費用              |           | 84,830           | 91,490           | 91,274           | 83,206           |
| 訪問看護<br>ステーション費用   | 給与費       | 34,004           | 30,892           | 31,398           | 32,990           |
|                    | 材料費       | 73               | 80               | 27               | 49               |
|                    | 経費        | 1,092            | 1,271            | 1,280            | 1,536            |
|                    | 研究研修費     | 30               | 0                | 59               | 0                |
|                    | 小計        | 35,199           | 32,243           | 32,764           | 34,575           |
| 居宅介護<br>支援事業<br>費用 | 給与費       | 11,333           | 11,818           | 17,403           | 16,451           |
|                    | 経費        | 872              | 896              | 547              | 557              |
|                    | 研究研修費     | 41               | 0                | 20               | 3                |
|                    | 小計        | 12,246           | 12,714           | 17,970           | 17,011           |
| 特別損失               |           | 0                | 28,300           | 0                | 3,925            |
| 費用合計               |           | 2,701,442        | 2,786,200        | 2,817,946        | 2,924,220        |

|          | 令和元<br>(2019) 年度 | 令和2<br>(2020) 年度 | 令和3<br>(2021) 年度 | 令和4<br>(2022) 年度 |
|----------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 収益合計     | 2,449,461        | 2,912,933        | 2,987,767        | 2,924,840        |
| 費用合計     | 2,701,442        | 2,786,200        | 2,817,946        | 2,924,220        |
| 純利益又は純損失 | △251,981         | 126,733          | 169,821          | 620              |

### (3) 財政の見通し

当組合の財源は構成町村の分担金、施設使用料収入、国県補助金、財産収入や諸収入等により賅われていますが、構成町村からの分担金が全体の90%を占めています。

今後構成町村の財政は、人口減少等による歳入減少や公共施設の老朽化対策等の増加による歳出増加が見込まれており、厳しい状況が続くと予想されています。

このような将来予測の中、当組合への分担金の増加、または現状のまま推移することは考え難く、国や構成町村の方針や取組みに合わせていく必要があります。また、その中で当組合としても無駄の排除や合理化による費用の節減などの取組みが今まで以上に必要となります。

病院事業会計の財政は、国の医療保険制度等の政策や人口の推移によっても変動することになります。平成30（2018）年10月に介護療養型老人保健施設を廃止するなど経営改善を実施しています。年齢別人口予測表によると、直近の令和2（2020）年国勢調査時の人口は26,970人で65歳以上の高齢者は9,022人（高齢化率33.4%）でした。令和22（2040）年には19,209人と令和2（2020）年国勢調査時より7,761人減少すると予測されています。

このように地域医療の中核としての役割が高まることが予想される中、今後も国の医療保険制度の変化に合わせた取組みや費用の節減などの経営改善が必要となります。

## 第2章

## 公共施設等の現状及び将来の見通し

## 1. 保有する施設について

本計画で示す公共施設等に該当する施設は下記のとおりです。

| 施設名称               | 取得年度            | 延床面積<br>(㎡) | 経過<br>年数 | 面積割合<br>(%) |
|--------------------|-----------------|-------------|----------|-------------|
| 消防本部・野辺地消防署合同庁舎    | 昭和 56<br>(1981) | 1,973.28    | 42       | 6.2%        |
| 野辺地消防署車庫・倉庫棟       | 昭和 56<br>(1981) | 287.02      | 42       | 0.9%        |
| 野辺地消防署訓練塔          | 令和 4<br>(2022)  | 150.00      | 1        | 0.5%        |
| 横浜消防署              | 昭和 56<br>(1981) | 770.93      | 42       | 2.4%        |
| 六ヶ所消防署             | 昭和 58<br>(1983) | 1,390.76    | 40       | 4.4%        |
| 六ヶ所消防署防災車両整備庫兼倉庫   | 平成元<br>(1989)   | 359.75      | 34       | 1.1%        |
| 六ヶ所消防署化学消火剤貯蔵タンク施設 | 平成 13<br>(2001) | 77.76       | 22       | 0.2%        |
| 六ヶ所消防署資機材倉庫        | 平成 13<br>(2001) | 104.34      | 22       | 0.3%        |
| 六ヶ所消防署訓練塔          | 平成 13<br>(2001) | 75.00       | 22       | 0.2%        |
| 六ヶ所消防署南分署          | 平成 11<br>(1999) | 468.72      | 24       | 1.5%        |
| 六ヶ所消防署南分署防災資機材庫兼車庫 | 平成 18<br>(2006) | 145.69      | 17       | 0.5%        |
| 六ヶ所消防署北分署          | 平成 4<br>(1992)  | 457.02      | 31       | 1.4%        |
| 六ヶ所消防署北分署防災資機材庫兼車庫 | 平成 18<br>(2006) | 145.69      | 17       | 0.5%        |

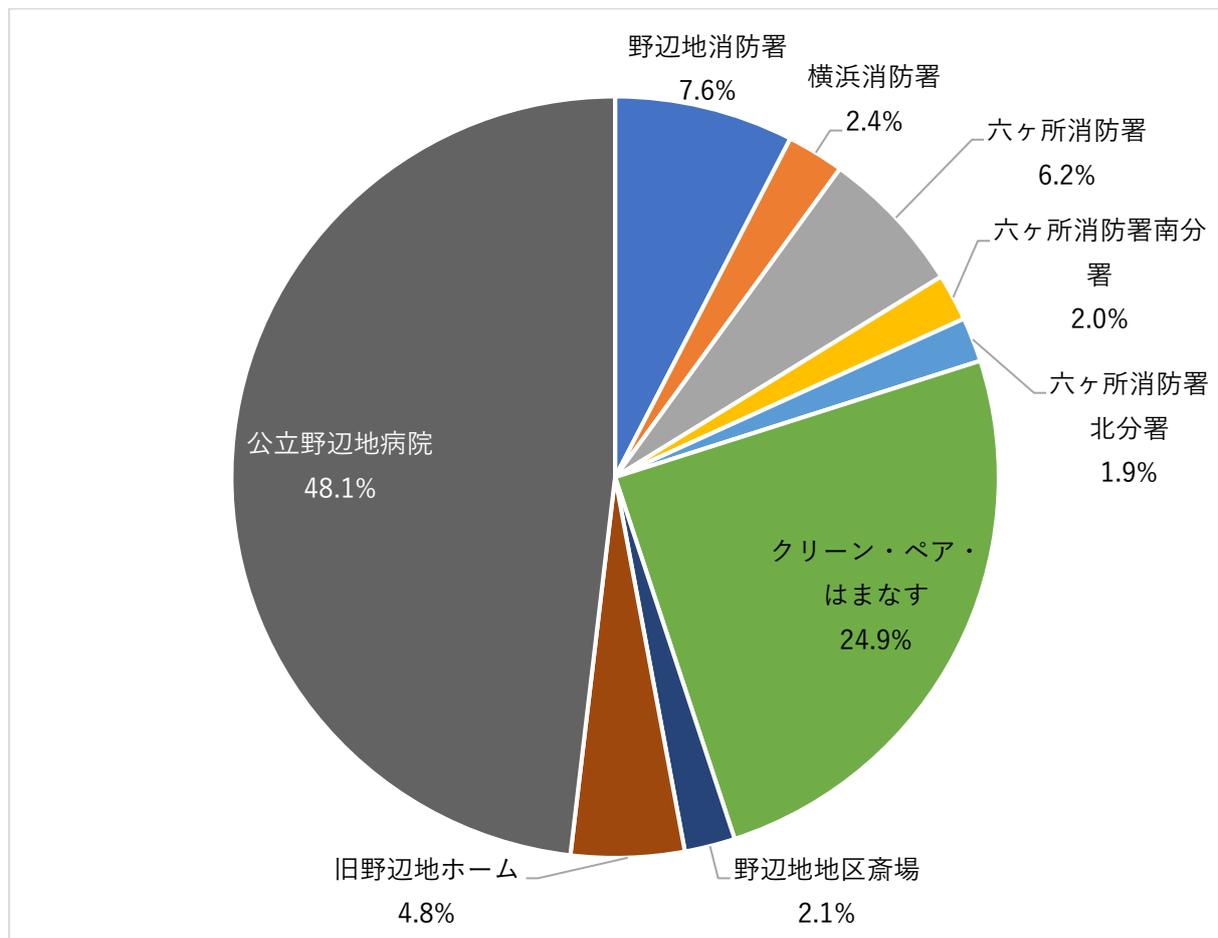
| 施設名称         | 取得年度            | 延床面積<br>(㎡) | 経過<br>年数 | 面積割合<br>(%) |
|--------------|-----------------|-------------|----------|-------------|
| クリーン・ペア・はまなす | 平成 9<br>(1997)  | 6,530.79    | 26       | 20.5%       |
| 回収品ストックヤード   | 平成 9<br>(1997)  | 1,008.18    | 26       | 3.2%        |
| 車庫・倉庫棟       | 平成 9<br>(1997)  | 198.85      | 26       | 0.6%        |
| 洗車場棟         | 平成 9<br>(1997)  | 123.40      | 26       | 0.4%        |
| ごみ計量棟        | 平成 9<br>(1997)  | 80.76       | 26       | 0.2%        |
| 野辺地地区斎場      | 平成 2<br>(1990)  | 650.05      | 33       | 2.0%        |
| 野辺地地区斎場倉庫    | 平成 5<br>(1993)  | 29.70       | 30       | 0.1%        |
| 旧野辺地ホーム      | 昭和 57<br>(1982) | 1,524.02    | 41       | 4.8%        |
| 公立野辺地病院      | 昭和 47<br>(1972) | 14,378.19   | 51       | 45.0%       |
| 新わかすげ寮       | 昭和 58<br>(1983) | 985.74      | 40       | 3.1%        |
| 合計           |                 | 31,915.64   |          | 100.0%      |

## 2. 公共施設の状況

当組合の公共施設(建物)延床面積の合計は 31,915.64 m<sup>2</sup>であり、所属別内訳では病院が 48.1%、続いてクリーン・ペア・はまなすが 24.9%と続きます。

### ■各所属別、延床面積

|              | 保有数 | 延床面積 (m <sup>2</sup> ) | 割合      |
|--------------|-----|------------------------|---------|
| 野辺地消防署       | 3   | 2,410.30               | 7.6%    |
| 横浜消防署        | 1   | 770.93                 | 2.4%    |
| 六ヶ所消防署       | 5   | 2,007.61               | 6.2%    |
| 六ヶ所消防署南分署    | 2   | 614.41                 | 2.0%    |
| 六ヶ所消防署北分署    | 2   | 602.71                 | 1.9%    |
| クリーン・ペア・はまなす | 5   | 7,941.98               | 24.9%   |
| 野辺地地区斎場      | 2   | 679.75                 | 2.1%    |
| 旧野辺地ホーム      | 1   | 1,524.02               | 4.8%    |
| 公立野辺地病院      | 2   | 15,363.93              | 48.1%   |
| 計            | 23  | 31,915.64              | 100.00% |



## (1) 公共施設老朽化の状況

### ①有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）の状況

建築物の老朽化は一般に、「減価償却累計額/取得価額」で評され、どの程度償却が進行しているのか、すなわち、「腐朽が進行しているか」の指標となります。

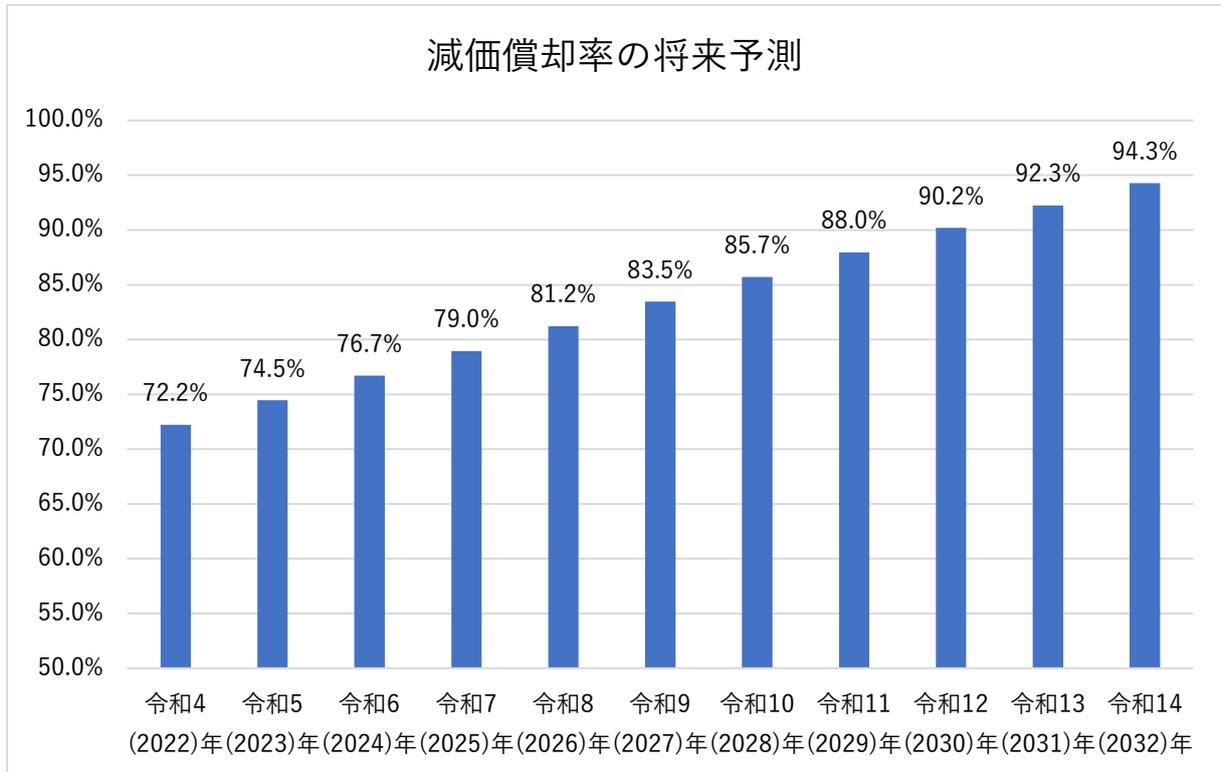
これまでの当組合の公共施設（建築物）における総建築額は約84.2億円です。組合全体として有形固定資産減価償却率は72.2%と資産が老朽化している状況となっています。

| 施設名称                   | 取得価額<br>(千円) | 令和4(2022)年<br>減価償却累計額<br>(千円) | 令和4(2022)年<br>有形固定資産減価<br>償却率 |
|------------------------|--------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 消防本部・野辺地消防署合同庁舎        | 370,239      | 303,596                       | 82.0%                         |
| 野辺地消防署車庫・倉庫棟           | 17,220       | 17,220                        | 100.0%                        |
| 野辺地消防署訓練塔              | 70,639       | 0                             | 0.0%                          |
| 計                      | 458,098      | 320,816                       | 70.0%                         |
| 横浜消防署                  | 98,952       | 98,952                        | 100.0%                        |
| 計                      | 98,952       | 98,952                        | 100.0%                        |
| 六ヶ所消防署                 | 382,254      | 298,158                       | 78.0%                         |
| 六ヶ所消防署防災車両整備庫兼倉庫       | 44,119       | 44,119                        | 100.0%                        |
| 六ヶ所消防署化学消火剤貯蔵<br>タンク施設 | 24,989       | 14,169                        | 56.7%                         |
| 六ヶ所消防署資機材倉庫            | 11,936       | 11,936                        | 100.0%                        |
| 六ヶ所消防署訓練塔              | 5,250        | 2,536                         | 48.3%                         |
| 計                      | 468,548      | 370,918                       | 79.2%                         |
| 六ヶ所消防署南分署              | 119,070      | 54,772                        | 46.0%                         |
| 六ヶ所消防署南分署<br>防災資機材庫兼車庫 | 13,816       | 5,968                         | 43.2%                         |
| 計                      | 132,886      | 60,740                        | 45.7%                         |
| 六ヶ所消防署北分署              | 87,169       | 52,301                        | 60.0%                         |
| 六ヶ所消防署北分署<br>防災資機材庫兼車庫 | 14,196       | 6,133                         | 43.2%                         |
| 計                      | 101,365      | 58,434                        | 57.6%                         |
| クリーン・ペア・はまなす           | 2,932,419    | 1,979,383                     | 67.5%                         |
| 回収品ストックヤード             | 2,587,304    | 1,746,430                     | 67.5%                         |
| 計                      | 5,519,723    | 3,725,813                     | 67.5%                         |
| 野辺地地区斎場                | 259,132      | 165,844                       | 64.0%                         |
| 野辺地地区斎場倉庫              | 1,339        | 1,339                         | 100.0%                        |
| 計                      | 260,471      | 167,183                       | 64.2%                         |

| 施設名称        | 取得価額<br>(千円) | 令和4(2022)年<br>減価償却累計額<br>(千円) | 令和4(2022)年<br>有形固定資産減価<br>償却率 |
|-------------|--------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 旧野辺地ホーム     | 320,104      | 320,104                       | 100.0%                        |
| 計           | 320,104      | 320,104                       | 100.0%                        |
| 公立野辺地病院 本館棟 | 214,900      | 214,900                       | 100.0%                        |
| 公立野辺地病院 南棟  | 349,251      | 349,251                       | 100.0%                        |
| 公立野辺地病院 中央棟 | 441,448      | 355,807                       | 80.6%                         |
| 計           | 1,005,599    | 919,958                       | 91.5%                         |
| 公立野辺地病院 渡廊下 | 5,399        | 4,352                         | 80.6%                         |
| 公立野辺地病院 厨房棟 | 48,587       | 32,845                        | 67.6%                         |
| 計           | 53,986       | 37,196                        | 68.9%                         |
| 合計          | 8,419,732    | 6,080,116                     | 72.2%                         |

### ②有形固定資産減価償却率の将来予測

建築物の減価償却率は令和4(2022)年度に72.2%であったものが本計画終了の令和14(2032)年度には94.3%と増加しており、今後も増加を続けることとなります。



(2) 実施した対策の実績

過去に行った公共建築物の改修・更新の主な取り組みは下記のとおりです。

| No. | 名称                     | 所管課    | 工事年度  | 工事及び修繕内容  |
|-----|------------------------|--------|---|---|
| 1   | 消防本部・野辺地消防署<br>合同庁舎    | 野辺地消防署 | 平成 27 (2015) 年度<br>平成 28 (2016) 年度<br>平成 30 (2018) 年度 | 男子トイレ改修工事 (1,702,080 円)<br>電話機設備更改工事 (600,480 円)<br>女性仮眠室 監理業務 (162,000 円)<br>女性仮眠室 設計業務 (378,000 円)<br>女性職員用仮眠室新設工事 (3,564,000 円)                                  |
| 2   | 野辺地消防署車庫・倉庫棟           |        |   |   |
| 3   | 野辺地消防署訓練塔              |        | 令和 4 (2022) 年度  | 訓練塔新築工事 (61,160,000 円)  |
| 4   | 横浜消防署                  | 横浜消防署  | 平成 29 (2017) 年度<br>平成 30 (2018) 年度<br>令和元 (2019) 年度   | 車庫シャッター修繕 (669,600 円)<br>外部改修工事設計業務委託 (1,188,000 円)<br>外部改修工事施行管理業務委託 (528,000 円)   |
| 5   | 六ヶ所消防署                 | 六ヶ所消防署 | 平成 26 (2014) 年度<br>平成 27 (2015) 年度<br>令和 2 (2020) 年度  | LED 改修工事 (5,832,000 円)<br>高圧受電設備修繕 (1,404,000 円)<br>女性専用施設設置監理委託 (470,000 円)<br>女性専用施設設置設計委託 (470,000 円)<br>女性専用施設設置改修工事 (6,600,000 円)                              |
| 6   | 六ヶ所消防署<br>防災車両整備庫兼倉庫   |        | 平成 27 (2015) 年度<br>平成 28 (2016) 年度                    | 改修工事設計業務委託 (907,200 円)<br>改修工事監理業務委託 (486,000 円)<br>改修工事 (5,489,640 円)  |
| 7   | 六ヶ所消防署<br>化学消火剤貯蔵タンク施設 |        |   |   |
| 8   | 六ヶ所消防署資機材倉庫            |        | 平成 30 (2018) 年度                                       | 資機材庫改修工事設計委託業務 (299,160 円)<br>資機材庫改修工事 (1,841,577 円)  |
| 9   | 六ヶ所消防署訓練塔              |        | 令和 4 (2022) 年度  | 訓練塔改修工事 (12,980,000 円)<br>訓練塔改修工事設計業務 (484,000 円)<br>訓練塔改修工事施行監理業務 (484,000 円)  |
| 10  | 六ヶ所消防署南分署              |        | 平成 26 (2014) 年度                                       | LED 改修工事 (1,609,200 円)  |
| 11  | 六ヶ所消防署南分署<br>防災資機材庫兼車庫 |        |   |   |
| 12  | 六ヶ所消防署北分署              |        | 平成 26 (2014) 年度                                       | LED 改修工事 (1,760,400 円)<br>耐震補強工事 (8,457,480 円)<br>耐震補強工事設計業務 (993,600 円)<br>耐震補強工事施工管理 (540,000 円)  |
| 13  | 六ヶ所消防署北分署<br>防災資機材庫兼車庫 |        |   |   |
| 14  | クリーン・ペア・はまなす           |        | クリーン・ペア・はまなす  | 平成 25 (2013) 年度<br>平成 26 (2014) 年度<br>平成 27 (2015) 年度<br>平成 28 (2016) 年度<br>平成 29 (2017) 年度<br>平成 30 (2018) 年度<br>令和元 (2019) 年度<br>令和 2 (2020) 年度<br>令和 3 (2021) 年度 |

第2章 公共施設等の現状及び将来の見通し

| No. | 名称         | 所管課        | 工事年度  | 工事及び修繕内容   |
|-----|------------|------------|---|--|
| 15  | 回収品ストックヤード |            |   |  |
| 16  | 車庫・倉庫棟     |            |   |  |
| 17  | 洗車場棟       |            |   |  |
| 18  | ごみ計量棟      |            |   |  |
| 19  | 野辺地地区斎場    | 事務局<br>総務課 | 平成 25 (2013) 年度<br>平成 26 (2014) 年度<br>平成 27 (2015) 年度<br>平成 28 (2016) 年度<br>平成 29 (2017) 年度<br>平成 30 (2018) 年度<br>令和元 (2019) 年度<br>令和 2 (2020) 年度<br>令和 3 (2021) 年度               | 火葬炉補修・屋外一体型カメラ設置工事火葬炉補修 (3,990,000 円)<br>火葬炉補修 (2,052,000 円)<br>火葬炉補修 (2,592,000 円)<br>火葬炉補修 (2,808,000 円)<br>火葬炉補修 (4,536,000 円)<br>火葬炉補修 (4,320,000 円)<br>火葬炉補修・火葬炉化粧扉補修 (8,478,000 円)<br>火葬炉補修 (3,410,000 円)<br>火葬炉補修 (3,520,000 円)   |
| 20  | 野辺地地区斎場倉庫  |            |   |  |
| 21  | 旧野辺地ホーム    | 事務局<br>財政課 | 平成 25 (2013) 年度<br>平成 26 (2014) 年度<br>平成 27 (2015) 年度   | 屋根防腐塗装工事 (4,357,500 円)<br>屋内消火栓ポンプ取換等修繕 (993,600 円)<br>三相トランス (電気変圧器) 入替工事 (961,200 円)<br>エアコン設置工事 (4,968,000 円)   |
| 22  | 公立野辺地病院    | 野辺地病院      | 平成 5 (1993) 年度<br>平成 9 (1997) 年度<br>平成 11 (1999) 年度<br>平成 22 (2010) 年度<br>平成 24 (2012) 年度<br><br>平成 25 (2013) 年度<br><br>平成 26 (2014) 年度<br><br>平成 28 (2016) 年度<br>平成 29 (2017) 年度 | 本館改造工事 (502,501,667 円)<br>本館 1 階改修 (15,567,151 円)<br>本館 4 階病棟療養型病床改築 (20,786,391 円)<br>本館 3 階改修 (個室増設) (3,600,000 円)<br>南棟 2 階病室改修 (2,120,000 円)<br>本館 3 階改修 (ナースステーション) (1,750,000 円)<br>南棟 1 階病棟改修 (7,177,000 円)<br>本館 3 階改修 (3,980,000 円)<br>風除室改修工事 (1,194,000 円)<br>本館 3 階、南 2、3 階病室改修工事 (7,577,000 円)<br>検診センター改修工事 (5,000,000 円)<br>訪問看護ステーション改修工事 (1,957,400 円)<br>救急外来・守衛室等改修工事 (21,700,000 円)<br>内視鏡・心電図室改修工事 (8,300,000 円)<br>外来 (歯科・外来・皮膚科) 移設工事 (26,395,171 円)<br>給食下膳車増設工事 (1,486,748 円)<br>本館 2 階個室工事 (29,681,101 円)<br>正面玄関改修工事 (23,055,374 円)<br>南棟屋上防水シート改修工事 (6,624,283 円)<br>南棟東側外壁一部改修工事 (5,362,382 円)<br>南棟屋上防水シート改修工事 (6,893,002 円) |

## 第3章

# 施設の基本方針

## 1. 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

### (1) 基本的な考え方

当組合における、施設管理方針は下記になります。

#### ■施設管理方針

- ・構成町村の財源及び人口減少に伴う公共施設のニーズの変化に対応する。
- ・無駄の排除及び費用の節減等によるコストのスリム化を図る。

今後も財政状況が厳しくなっていく中、全体で有形固定資産減価償却率が80%を超える公共施設の適正な維持管理をするためにも、長期的な視点に立って公共施設等の管理を行います。

### (2) 長寿命化の推進

既存施設を可能な限り長く利活用していくために長期的な視点に立ち、点検や修繕に努めます。更に財政への影響を考慮し、費用等の負担が集中しないように平準化を図るなど、計画的な長寿命化措置を行います。

### (3) 実施方針

#### ①点検・診断等の徹底及び維持管理等の実施方針

必要に応じて施設の点検を実施していくとともに、経年による劣化状況や外的要因による性能低下及び不良個所を早期発見し、適正な修繕や改修を実施することで、維持、管理、修繕コストを節減し平準化を図ります。

#### ②安全確保の実施方針

危険性が認められた公共施設等については、災害拠点か、住民の利用状況はどうか、施設の目的などの視点から優先順位を定めて安全対策に努めます。

#### ③耐震化の実施方針

当組合における旧耐震基準に該当する施設は、耐震化済みであり、耐震補強工事を要する施設はありません。

#### (4) 施設機能の維持管理に関する基本方針

組合の保有する施設の機能を保つためには、適切な維持管理や突発的な修繕等に対する柔軟な対応が必要となります。

大規模改修や施設の更新の際には、構成町村との連携が不可欠であり、入念な計画策定や構成町村民の意見の反映等、様々な角度から検討していく必要があります。

#### (5) ユニバーサルデザインに関する方針

今後の施設更新の際及び主要施設については、施設の機能や目的、利用状況などを考慮しながら、ユニバーサルデザインの視点を持って建物を設計し、障がいの有無、年齢、性別、人種等に関わらず多様な人々が施設を利用しやすい環境を整えていきます。

#### (6) 脱炭素化に関する方針

「カーボンニュートラル」、「脱炭素社会」の実現に向け、地球環境問題の重要性を認識し、当組合温室効果ガスの排出要因である電気使用量と軽油・ガソリンなどの燃料使用量の削減に重点的に取り組みます。

## 2. 施設ごとの管理に関する基本的な方針

---

#### (1) 消防施設(消防本部・野辺地消防署合同庁舎・横浜消防署・六ヶ所消防署・六ヶ所南分署・六ヶ所北分署)

圏域地域における住民の生命、身体及び財産を保護するという消防の目的を踏まえると、消防施設の統廃合等については慎重に判断する必要があります。老朽化が進んでいる施設もありますが、地域の防災活動の拠点施設としての機能を維持するため、計画的な修繕や長寿命化等に取り組みます。

#### (2) クリーン・ペア・はまなす

施設の特性上廃止は難しく、人口減少に伴うニーズの変化や財政負担などに対応しつつ、今後の安定稼働に向け計画的な修繕を行いながら、施設の更新・長寿命化等に取り組みます。

#### (3) 斎場施設(野辺地区斎場)

施設の特性上廃止は難しく、将来の高齢化社会による施設の利用状況を踏まえ、計画的な修繕や長寿命化等に取り組みます。

#### (4) 旧野辺地ホーム

令和元(2019)年度までは、介護福祉施設として使用していました。令和2(2020)、3(2021)年度は未使用となっていました。令和4(2022)年度から賃貸により貸出しています。適宜修繕を行い、現状を維持しつつ、賃貸の継続、譲渡または除却を視野に検討します。

#### (5) 公立野辺地病院

平成26(2014)年度に報告された耐震診断結果では、構造躯体の耐震性能を示している構造耐震指数(Is値)がすべての階で基準値を下回っており、耐震補強工事を行ったとしても、構造耐震指数(Is値)が基準値を上回るか難しい状況であることから、今後は適正な修繕・改修を行いつつ、構成町村と協議を重ねながら、施設の更新を視野に検討します。

また、新わかすげ寮については現在使用していないことから、用途変更や除却を検討していきます。

#### (6) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

施設マネジメント(資産を中長期的な視点により総合的に経営し、施設の効果の最適化)を進めていくにあたって、将来にわたる財源の推移や施設全体の状況から総合的判断したうえで優先順位を付し、長期的な視点で計画的に整備、修繕等を実施していく必要があります。そのために職員一人ひとりが施設をマネジメントするという意識を持って取り組んでいく必要があるため、計画の趣旨を十分に理解し、施設の環境を総合的に管理し、全体をより効率的にあるいは戦略的に経営していくために、ファシリティマネジメントの視点に立った施設管理となるよう研修等を通じて職員の啓発に努め、コスト意識の向上に努めていくものとします。

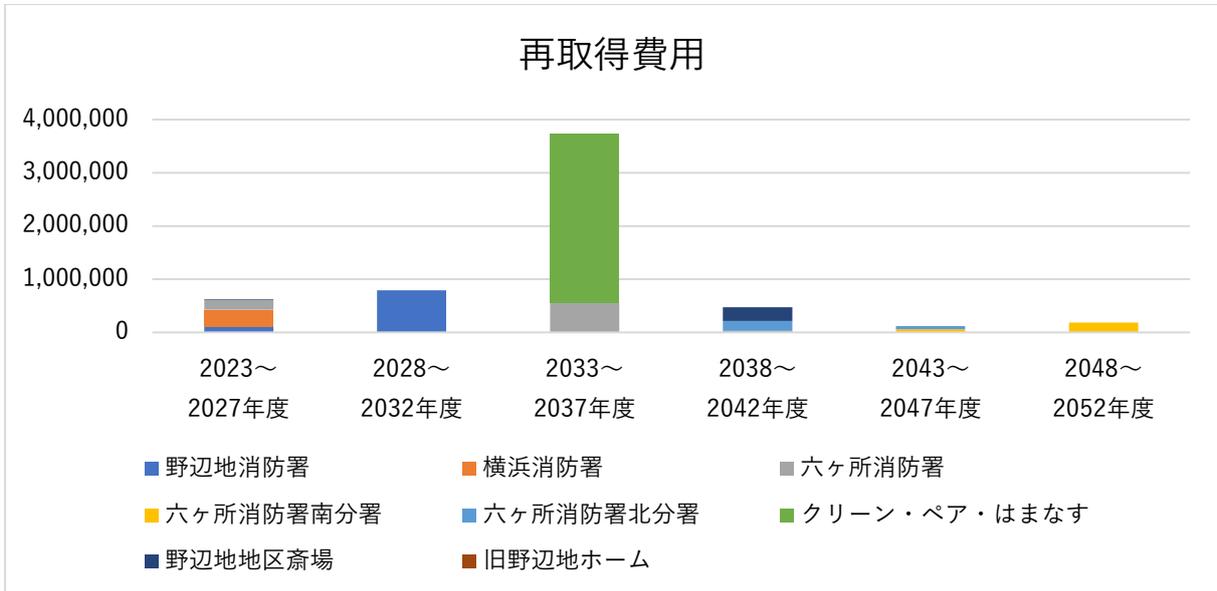
## 第4章

# 将来の資産必要額と個別施設計画の財政効果

## 1. 個別施設計画の達成による財政効果

今後、更新を迎えるすべての施設を法定耐用年数で更新した場合（再取得費用）、30年間で約116.7億円（約3.9億円/年）と試算されました。長寿命化を実施した場合（長寿命化費用）は、約73億円（約2.4億円/年）となり約43.8億円（約1.5億円/年）の財政効果を見込めます。

### ■公共施設（建物）の再取得費用

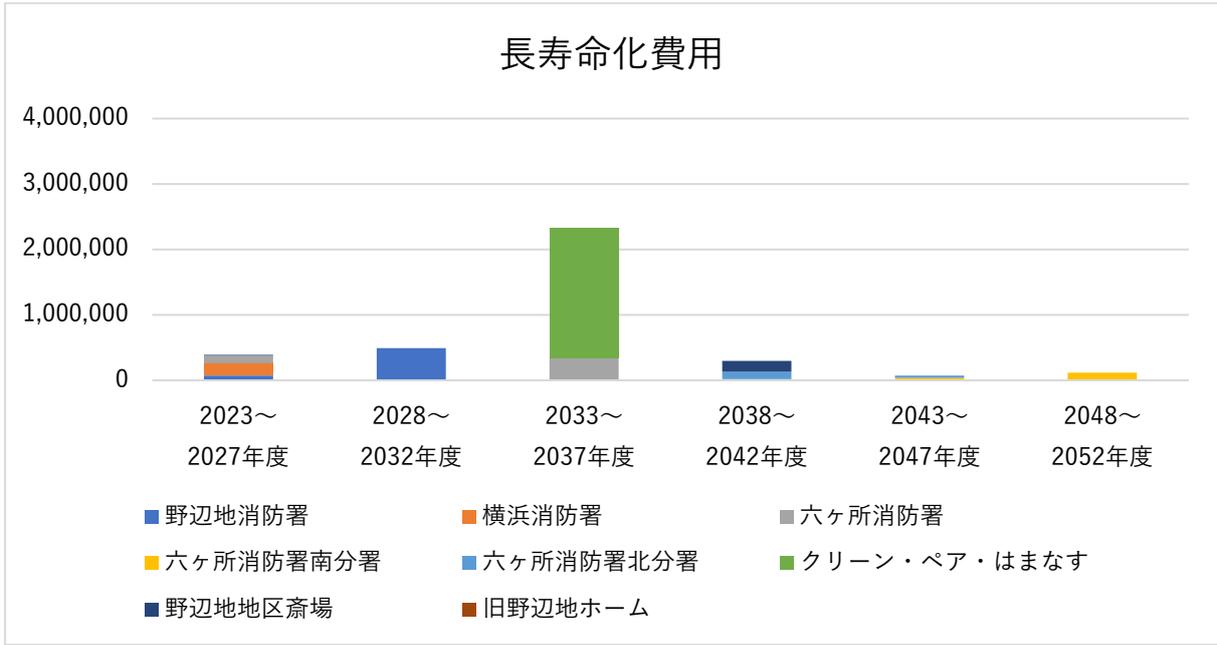


### ■再取得費用

(単位:千円)

|              | 2023~<br>2027年度 | 2028~<br>2032年度 | 2033~<br>2037年度 | 2038~<br>2042年度 | 2043~<br>2047年度 | 2048~<br>2052年度 | 合計         |
|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------|
| 野辺地消防署       | 114,808         | 789,312         | 0               | 0               | 0               | 0               | 904,120    |
| 横浜消防署        | 308,372         | 0               | 0               | 0               | 0               | 0               | 308,372    |
| 六ヶ所消防署       | 185,636         | 0               | 556,304         | 31,104          | 0               | 0               | 773,044    |
| 六ヶ所消防署南分署    | 0               | 0               | 0               | 0               | 58,276          | 187,488         | 245,764    |
| 六ヶ所消防署北分署    | 0               | 0               | 0               | 182,808         | 58,276          | 0               | 241,084    |
| クリーン・ペア・はまなす | 0               | 0               | 3,176,792       | 0               | 0               | 0               | 3,176,792  |
| 野辺地地区斎場      | 11,880          | 0               | 0               | 260,020         | 0               | 0               | 271,900    |
| 旧野辺地ホーム      | 更新予定なし          |                 |                 |                 |                 |                 | —          |
| 公立野辺地病院      | 0               | 5,751,276       | 0               | 0               | 0               | 0               | 5,751,276  |
| 新わかすげ寮       | 更新予定なし          |                 |                 |                 |                 |                 | —          |
| 合計           | 620,696         | 6,540,588       | 3,733,096       | 473,932         | 116,552         | 187,488         | 11,672,352 |

■公共施設（建物）の長寿命化費用



■長寿命化費用 (単位:千円)

|              | 2023~<br>2027年度 | 2028~<br>2032年度 | 2033~<br>2037年度 | 2038~<br>2042年度 | 2043~<br>2047年度 | 2048~<br>2052年度 | 合計        | 差額         |
|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------|------------|
| 野辺地消防署       | 71,755          | 493,320         | 0               | 0               | 0               | 0               | 565,075   | △339,045   |
| 横浜消防署        | 192,733         | 0               | 0               | 0               | 0               | 0               | 192,733   | △115,640   |
| 六ヶ所消防署       | 116,023         | 0               | 347,690         | 19,440          | 0               | 0               | 483,153   | △289,892   |
| 六ヶ所消防署南分署    | 0               | 0               | 0               | 0               | 36,423          | 117,180         | 153,603   | △92,162    |
| 六ヶ所消防署北分署    | 0               | 0               | 0               | 114,255         | 36,423          | 0               | 150,678   | △90,407    |
| クリーン・ペア・はまなす | 0               | 0               | 1,985,495       | 0               | 0               | 0               | 1,985,495 | △1,191,297 |
| 野辺地地区斎場      | 7,425           | 0               | 0               | 162,513         | 0               | 0               | 169,938   | △101,963   |
| 旧野辺地ホーム      | 更新予定なし          |                 |                 |                 |                 |                 | -         | -          |
| 公立野辺地病院      | 0               | 3,594,548       | 0               | 0               | 0               | 0               | 3,594,548 | △2,156,728 |
| 新わかすげ寮       | 更新予定なし          |                 |                 |                 |                 |                 | -         | -          |
| 合計           | 387,935         | 4,087,868       | 2,333,185       | 296,208         | 72,845          | 117,180         | 7,295,221 | △4,377,132 |

5年ごとの期間で見ると、令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの期間で、その費用は約3.9億円となり、令和10（2028）年度から令和14（2032）年度で約40.9億円、令和15（2033）年度から令和19（2037）年度までに約23.3億円かかる試算となります。

上記の試算は、あくまで一定の基準の下で試算したものであり、実際に必要となる費用とは合致しませんが、一つの目安となります。

## 2. 本計画の推進体制

### (1) 推進方針

今後、本計画の方針や個別施設計画における各施設の方向性に基づき、個別施設ごとに具体的な取り組みを行います。事務的な整理や整備手法などを検討し、対策の実施にあたっては、対象施設に関連する関連団体などとの協議を行い、十分な調整と合意形成を図りながら進めます。

また、長寿命化や予防・維持保全の推進を行う施設については、それぞれ修繕（改修）計画を策定し、実際の事業実施に際しては、各団体との整合性を図り財政負担の軽減・平準化を図ります。

また、建物の残寿命が近いものや社会情勢、住民ニーズの変化により施設の在り方を考慮するものについては、今後、計画の見直しや次期策定時において対策（方向性）を検討します。

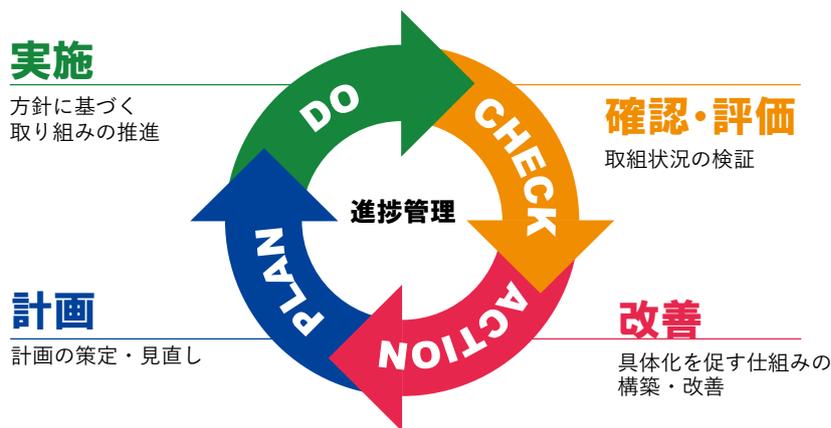
### (2) 推進体制

個別施設計画に記載している対策については、各所管課を中心として実施しますが、施設の方向性検討については、長期的な展望を見極めながらその方向性について、連携を図り取り進めます。

## 3. フォロー体制に関する実施方針

この計画の内容については、個別計画をはじめ、社会経済情勢の変化等を踏まえ、PDCA サイクル評価により、必要に応じ見直しを行います。

### ■見直しサイクル



## **(参考) 用語説明**

### **1 有形固定資産減価償却率**

有形・無形固定資産のうち、耐用年数の決まっているものは減価償却が必要になります。有形固定資産の有形資産減価償却の進展の割合を示しているのが、有形固定資産減価償却率です。有形固定資産減価償却率を見ることで償却の進展具合だけでなく、資産の古さを確認することもできます。

### **2 耐用年数**

耐用年数とは、減価償却資産が利用に耐える年数をいいます。長期にわたり反復使用に耐える経済的に価値があるものの使用又は所有の価値の減価を、各年度に費用配分していく場合の計算の基礎となります。

### **3 施設マネジメント**

地方公共団体等が保有し、又は借り上げている全公共施設を、組合の視点から総合的かつ統括的に企画、管理及び利活用する仕組みを指します。

### **4 ファシリティマネジメント**

ファシリティ(土地、建物、構築物、設備等)すべてを経営にとって最適な状態(コスト最小、効果最大)で保有し、賃借し、使用し、運営し、維持するための総合的な活動です。

### **5 PDCA サイクル**

「Plan(計画)→Do(実施)→Check(評価)→Action(改善)」の4段階を繰り返すことにより、業務を継続的に改善する手法をいいます。

**北部上北広域事務組合 公共施設等総合管理計画**

令和 6（2024）年 3 月

〒039-3113 青森県上北郡野辺地町字田狭沢 40-9

**【北部上北広域事務組合】**

TEL 0175-64-1066